

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-007

PDCA	事務事業名	道路維持修繕事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部土木課 建設担当	担当	鵜飼	
					内線等	437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (2) 生活道路の整備 個別施策： ①安心して利用できる道づくり					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	市道における道路構造物の適切な維持管理					
	目的を達成するための手段・活動内容	道路パトロールおよび道路施設現況調査の結果による修繕計画に基づき、予防保全的な観点から計画的に修繕を進めていくとともに、住民要望等については、その内容を十分に精査し、緊急性、必要性を考慮して適切に修繕を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①住民要望(個票)により実施した件数	60	57	32	件	
		②住民からの口頭等の要望及び道路パトロールでの発見により実施した件数	1055	1018	998	件	
		③過年度要望を予算化して実施した件数	23	124	203	件	
		事業費	293,039	285,744	272,080	千円	
		人件費	15,245	10,812	16,420	千円	
		総事業費	308,284	296,556	288,500	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①道路維持に係る要望等1件当たりにかかるコスト	271	247	234	千円		
	②						
	③						
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①道路維持改修路線数	実績値	11	5	14	路線
			目標値	11	5	10	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B					
		道路パトロールや住民要望を踏まえ、計画的に実施した10路線に加え、通行に支障となる危険箇所などの4路線の道路改修工事を実施し、安全な生活道路を維持することができた。引き続き、道路パトロールにより、危険箇所を早期発見し、特に緊急を要する危険箇所については、迅速な応急措置を徹底して行い、事故等の原因となるリスクを軽減する必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			定期的な道路パトロールにより危険箇所を早期発見し、修繕、改修に努めることで、安心して利用できる生活道路を維持する。 また、住民要望やマイレボ等については早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕、改修を実施する。				
		令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位
			①道路維持改修路線数			5	路線